

■ 掲示板

■2020年度 後期 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

募集対象: 当研究所の放射光および低速陽電子を利用する学術研究のための実験が対象です。

国内外の大学及び公的研究機関の教員・研究員・技術職員、成果公開型の学術研究を認める民間企業の研究者、又はこれらと同等と所長が認める者を対象とします。

申請受付開始: 2020年4月15日(水)

応募要領: 実験課題申請システム【<https://pmsweb.kek.jp/k-pas/>】を利用した電子申請となります。

応募締切は2020年5月中旬(予定)です。

なお、初心者課題、緊急課題等については、随時受付しています。

具体的な申請書作成等に関する詳細については、<https://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html> をご参照ください。

その他: 共同利用実験の成果については、公表していただきます。

問合せ先:

高エネルギー加速器研究機構
研究協力部研究協力課
共同利用支援室共同利用係
E-mail: kyodo1@mail.kek.jp
TEL: 029-864-5126

■第20回(2020年度)「一般財団法人材料科学技術振興財団 山崎貞一賞」の募集

山崎貞一賞: 「一般財団法人材料科学技術振興財団山崎貞一賞(以下、山崎貞一賞)」は、科学技術水準の向上とその普及啓発に寄与することを目的とし、また、当財団の初代理事長を務めた故山崎貞一氏の科学技術および産業の発展に対する功績、人材の育成に対しての貢献を記念して創設された賞であります。

募集対象分野(2020年度):

1. 「材料分野」
2. 「半導体及び AI・システム・ソフトウェア分野」

内容:

- (1) 受賞者は国籍を問わず、日本国内に於いて優れた創造的業績をあげている人となります。
- (2) 誠実な人間性のある人物を授賞対象とします。
- (3) 受賞者全員に賞状および各分野に対し賞金300万円を贈呈します。
- (4) 贈呈式典は11月に執り行います。
- (5) 過去に応募し選に漏れた人でも、再応募可能です。その際、新たなる発展、新たなる資料をお持ちの場合は、それらも提示して申請書を作成し応募してください。
- (6) 複数人(総計3名以内)で応募される場合は、各人につき

申請書に詳細な寄与実績を記載してください。

(7) 申請書を作成するに当たっては、記入要領に従ってください。

応募方法:

必要書類一式を Web システムよりご提出ください。

申請書一式は、募集期間中に山崎貞一賞ホームページよりダウンロードいただけます。

山崎貞一賞ホームページ:

<https://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html>

募集期間: 2020年3月15日(日)~4月30日(木)

問合せ先:

一般財団法人 材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局
TEL: 03-3415-2200(直通) FAX: 03-3415-5987
E-mail: prize@mst.or.jp

■高エネルギー加速器研究機構次期機構長候補者の推薦依頼

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構では、2021年(令和3年)4月1日付で任期が始まる次期機構長の候補者について推薦を求めています。

本機構は、国立大学法人法により設立された法人で、同法に基づく業務を行っております。また、素粒子原子核研究所、物質構造科学研究所及び加速器研究施設と共通基盤研究施設とを擁し、国内外の研究者に開かれた教育・研究機関であります。本機構における研究分野は、加速器を共通の研究手段として、高エネルギー物理学、原子核物理学、物質科学、生命科学、加速器理工学など、多岐にわたっております。

機構長候補者は、大学共同利用機関法人を代表し、その業務を総理する立場として、①人格が高潔で、学識が優れ、かつ、機構における教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者であり、②高度な先端性、国際性及び学際性を持つ高エネルギー加速器研究機構を、社会の理解と支持を得ながら、長期的なビジョンと強い学問的リーダーシップを発揮し発展させることができ、③中期目標・中期計画の策定及び推進に優れた手腕を有する者であることとしております。

なお、機構長の任期は2024年(令和6年)3月31日までの3年です。再任の場合は2回までで、引き続き9年を超えて在任することはできないこととなっております。また、国籍は問いません。

については、上記を踏まえて、適任者のご推薦をお願いいたします。

提出書類: (1)機構長候補者推薦書、(2)候補者略歴、(3)主たる業績リスト、(4)推薦理由

※使用言語は、日本語または英語にてお願いいたします。

(各様式については、下記のページより取得してください。)

<https://www.kek.jp/ja/newsroom/2020/03/02/0937/>

ご不明な点がございましたら、下記問合せ先にご連絡ください。

推薦期限：2020年（令和2年）5月29日（金）（必着）

推薦書提出先及び問合せ先：

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

高エネルギー加速器研究機構

総務部総務課総務係

TEL：029-864-5114

E-mail：kek.dgsc@ml.post.kek.jp

■会告

■第24回日本放射光学会奨励賞選考結果報告

2019年9月21日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第124回評議員会にて第24回日本放射光学会奨励賞の授与が承認され、第33回総会にて賞状並びに副賞のメダルが授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・横山優一（公益財団法人高輝度光科学研究センター）

「共鳴非弾性軟 X 線散乱による電子状態解明およびコヒーレント軟 X 線散乱による時空間分解計測の開発」

横山会員は、 LaCoO_3 の共鳴非弾性軟 X 線散乱を測定して、引張応力下にある薄膜の 3d 電子間の遷移を観測し、応力ひずみによる高低スピン状態の違いの検出に成功した。また、SPring-8 の BL07LSU において時間分解軟 X 線吸収分光装置を開発し、レーザー照射による Eu M_5 端の吸収強度の時間分解変化から 4f 電子系の光誘起過渡現象を直接観測することに成功した。さらに、コヒーレント軟 X 線散乱による時空間分解計測を実現するために、情報科学の手法を取り入れ、コヒーレント回折イメージング用のスパース位相回復の新しいアルゴリズムを開発し、従来の手法では解析不可能なノイズ及び情報欠損を多く含むデータからでも情報が抽出できるという画期的な手法の開発にも成功した。これらの研究はいずれも独創的かつ世界最先端の成果で、学術研究として高く評価できる。加えて、研究のアクティビティも指数関数的に進展しており、わが国の放射光科学の将来を担う若手研究者としての素質を十分に備えている。

以上、横山会員は新進気鋭の若手研究者として困難な研究に積極的に取組み、将来にわたり放射光分光およびイメージングの分野をリードしていくと期待され、日本放射光学会の奨励賞に相応しい研究者である。

■第3回放射光科学賞選考結果報告

2019年9月21日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として1名が推薦された。

その結果を受け、第124回評議員会にて第3回放射光科学賞の授与が承認され、第33回総会にて賞状が授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・辛 埴（東京大学・総長室・特別教授室）

「軟 X 線放射光を用いた先端電子状態分光の開発と物性研究の開拓」

辛埴氏は、世界初の放射光専用施設 SOR-RING をはじめ、つくばの PF、播磨の SPring-8 と、常に世界最先端の光源で世界最高性能を有する特徴ある先端電子状態分光装置を複数開発し、そ

れを用いた物性研究の開拓研究を行ってきた。特に共鳴非弾性軟 X 線散乱 (RIXS) 分析装置を作製し、先駆的かつ包括的な研究によって世界的な RIXS プームの火付け役となった。この装置は当時の世界最高エネルギー分解能を達成し、高エネルギー分解能かつ高検出効率の RIXS 分析装置であった。さらに独自の溶液セルを開発し、溶液やタンパク質の電子状態を観測する道を拓いた。RIXS だけでなく超高分解能光電子分光装置を開発し、強相関物質、磁性材料、表面化学反応の研究において精緻な電子物性の研究を可能にした。一方、辛氏は高調波レーザーを用いた真空紫外・軟 X 線域の電子状態測定でも顕著な業績を残している。パルス特性、単色性、高輝度性、コヒーレンス性、偏光性、エネルギー可変性など、軟 X 線レーザーと放射光の相補性を活かした研究展開は、2種類の光源とその利用技術が相互に発展する絶好の機会を与えただけでなく、次世代放射光における最先端分光の位置づけを明確にした。

以上のように辛埴氏は我が国の放射光科学の発展に著しい貢献をしており、本学会放射光科学賞に相応しい研究者である。

■第7回日本放射光学会功労報賞選考結果報告

2019年9月21日開催の学術賞等選考委員会の選考結果として2名が推薦された。

その結果を受け、第124回評議員会にて第7回日本放射光学会功労報賞の授与が承認され、第33回総会にて賞状が授与された。

氏名、所属、並びに、選考理由は下記の通り。

- ・小山 篤（高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所放射光実験施設）

小山篤氏は、1984年の高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 入所以来、PF の XAFS ビームラインを中心とするビームライン群 (BL10B, BL7C, BL6B, BL12C, BL9A, BL9C, NW10A, BL15A) の建設・運用・管理・利用支援・高度化に従事するとともに、後進の技術職員を育成・指導した。この間に行った光学系調整法やビーム位置モニター等の整備・高度化により、XAFS ビームラインの利便性向上や、XAFS 測定法の高度化・効率化が進み、国内 XAFS ユーザーの飛躍的な増大につながった。また、実験ホールの温度・冷却水等の変動を記録する環境測定システムを整備し、実験環境を改善したり、東日本大震災の復旧作業チームを指揮して短期間で運転を再開するなど、施設整備関係にも大きな貢献をした。さらに、共同利用実験を安全に実施するために、非常通報装置の設置・火災受信器の集約等、施設安全関係にも取り組んだ。

以上のように、小山氏は、放射光施設の技術開発に加え、施設全体の整備・安全関係に対する功労があり、永年にわたり施設を支えてきた貢献は非常に高く、日本放射光学会功労報賞に相応しい技術者である。

- 堀米利夫（自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設）

堀米利夫氏は、1973年、高エネルギー物理学研究所の共通研究系・工作室の技術職員に採用され、物理実験機器の設計・製作に従事したのち、1980年、分子科学研究所に異動してUVSOR施設のVUV-SXを中心とする多くのビームライン・観測システム（BL3A, BL5B, BL7A, BL8B, BL3U, BL6U, BL7U, BL7B）の設計・製作および技術支援活動に永年にわたり従事している。その間、研究者の技術相談にも熱心に対応し、種々の実験装置の改良や創意工夫による研究者支援に尽力し、多くの研究者から信頼される高い技能を持った技術者としてUVSORの特色ある研究活動を支えている。研究ニーズに的確に対応した同氏の技術的助言・指導は、若手研究者の研究活動を大きく発展させただけでなく、軟X線二結晶分光器、ARPESにおける超高真空用試料搬送機構、極低温冷却機構や結晶劈開機構、STXMにおける試料回転機構やオペランド分光試料セル、半球型光電子エネルギー分析器の真空回転機構、X線自由電子レーザーの検出器機構など、同氏が開発に関わった機器は、国内外の施設で広く採用され、中には商品化されたものがあるなど、放射光科学の発展に大きく寄与している。

以上のように、堀米氏は、放射光施設の高度な利用に必要な要素技術開発に加え、施設を利用する研究者への高い技術支援を通して、放射光科学分野に対する多大な功労があり、日本放射光学会功労報賞に相応しい技術者である。

■日本放射光学会第125回評議員会議事録

日時：2020年1月10日（土） 12：00～13：00

場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

出席者（32名）：朝倉清高（会長）、阿部仁、雨宮慶幸、石川哲也、内海渉、大橋治彦、尾嶋正治、加藤政博、岸本浩通、木村昭夫、木村真一、組頭広志、小杉信博、辛埴、高田昌樹、田中義人、中尾裕則、原田慈久、藤原明比古、船守展正、松田巖、水木純一郎、村上洋一、矢代航、山本雅貴、若林裕助、渡辺義夫
小嗣真人（行事幹事）、関山明（編集幹事）、高橋嘉夫（会計幹事）、田旺帝（庶務幹事）、中村哲也（渉外幹事）

欠席者（3名）：稲田康宏、太田俊明、初井宇記

事務局：佐藤亜己奈

0-1. 朝倉会長より挨拶があり、2020年度活動方針について説明があった。

〈審議事項〉

1. 第33回総会議事

田庶務幹事より、第33回総会の議事案について説明があり、これを承認した。

2. 2019年度決算案

高橋会計幹事より、2019年度決算案について説明があり、これを承認した。

また、朝倉会長より、前回の評議員会後、基礎講習会の支出が予算を大幅に超過したことに関して調査と説明を求める要望が評議員からあった旨説明があり、調査結果と今後の対策について報告があった。

3. 予備費の新設について

田庶務幹事より、緊急支出に備えて支出科目に予備費を新設することについて提案があり、これを承認した。予算通りの執行を原則とするが、緊急のやむを得ない事態になったとき、会長判断で予備費より支出する。予備費の使用は幹事会で情報共有し、次回評議員会で予備費使用の了解を得る。予備費の上限は50万とする。

4. 2020年度予算案

高橋会計幹事より、予備費を含めた2020年度予算案について説明があり、これを承認した。

5. 日本放射光60周年記念シンポジウム

小嗣行事幹事より、日本放射光60周年記念シンポジウムの企画案、ワーキンググループメンバー、準備金貸借に関する覚書について説明があり、ワーキンググループを立ち上げて議論を進めることについて承認をした。

6. 大学院生の国際活動支援奨学金について

田庶務幹事より、2020年度の国際活動支援奨学金募集案について説明があり、これを承認した。

7. 会員異動

田庶務幹事より、第124回評議員会以降の入会申請に関して、入会：正会員：12名（内学生7名）、シニア会員1名、特別賛助会員1団体1口の報告があり、これを承認した。退会に関して、退会：正会員4名（内学生0名）を確認した。2020年1月10日現在の総会員数は1,282名（内学生115名）、名誉会員3名、シニア会員73名、賛助会員50社（52口）、特別賛助会員13団体（20口）。

また、会費3年間未納のための自動退会者38名および会費2年滞納者53名のリストを確認した。

8. 協賛・後援・共催

中村渉外幹事より、本学会に対する協賛・後援・共催依頼について事後承認の依頼があり、協賛6件を承認した。

9. 日本学術会議会員・連携会員の候補者に関する情報提供

田庶務幹事より、日本学術会議会員・連携会員の候補者に関する情報提供の依頼が来ている旨、説明があり、会長に一任することについて承認をした。尚、適任の方がいれば会長に連絡をすることとした。

10. 広報担当幹事の新設

朝倉会長より、学会ホームページを担当する広報担当幹事の新設について提案があった。検討を開始することについて承認し、次回評議員会で諮ることとした。

11. Emotet（エモテット）computer virusの対応

朝倉会長より、学会としてEmotet computer virusへの対策を検討する必要があるのではないかと提案があり、対策を進めることについて承認した。評議員会での資料共有方法など、次回評議員会でアイデアを示すこととした。

〈報告事項〉

1. JSR2020状況

小嗣行事幹事より、第33回年会・合同シンポ（JSR2020）が順調に開催されている旨、報告があった。

2. 会誌編集状況

関山編集幹事より、依頼記事の進捗状況、「改訂版 放射光ビームライン光学技術入門」の出版状況について報告があ

た。

3. AOFSSRR報告

中村渉外幹事，小杉評議員よりAOFSSRR 2019 Council Meetingについて報告があった。

4. 特別賛助会員の会員定義の見直し

田庶務幹事より，第123回評議員会において審議・承認をした，特別賛助会員に関する定款の改定について，第33回総会で諮る旨，報告があった。

評議員会日程（予定）の確認

第126回評議員会 2020年4月11日（土）場所：東京大学理学部1号館105号室

第127回評議員会 2020年7月11日（土）場所：東京大学理学部1号館105号室

第128回評議員会 2020年10月24日（土）場所：東京大学理学部1号館105号室

■第33回（2020年）日本放射光学会総会議事録

日時：2020年1月10日（金） 14：00～15：00

場所：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

出席者：出席者：244名 委任状：54名 計：298名

定款第28条により，正会員の1/10（128名）以上の参加で総会は成立。

（議事）

1. 議長選出

議長に船守展正会員を選出した。

2. 2020年度会長挨拶

朝倉会長より挨拶があり，「放射光施設のさらなる進展への協力」，「放射光ユーザ全体との対話」，「国際協力」，「若手シンポジウムの支援」，「事業60周年国際会議（2022），DATABASEの充実」といった2020年度活動方針について所信表明があった。

3. 2020年度学会組織

田庶務幹事より，2020年度の学会組織（会長，幹事，評議員，各委員会）について報告があった。

4. 2019年度事業報告

田庶務幹事より，2019年度の学会活動について報告があった。

5. 2020年度事業計画

田庶務幹事より，2020年度の事業計画について報告があった。

6. 2020年度行事活動方針

小嗣行事幹事より，年会・合同シンポジウムの開催，若手研究会・基礎講習会の継続など，2020年度の行事活動方針について報告があった。

7. 2020年度編集活動方針

関山編集幹事より，学会誌「放射光」の編集・発行を中心とした活動により，学会誌の質・量の維持・向上を通じて放射光学会活動の活性化と拡大に貢献するといった，2020年度の編集幹事活動方針について報告があった。

8. 2020年度渉外活動方針

中村渉外幹事より，他学会に対する情報発信，AOFSSRRとの協調（AO-SRI-LS2020：2020年11月15-18日東北大，等），

IUCrのCommission on Synchrotron and XFEL Radiationとの協調，学会ホームページのアップデート，SRN等への情報発信，緊急時における他学会への働きかけ声明文などの準備，発信，男女共同参画との連携，特別賛助会員，賛助会員への対応など，2020年度の渉外幹事活動方針について報告があった。

9. 大学院生の国際活動支援奨学金について

田庶務幹事より，大学院生の国際活動支援奨学金募集について説明があった。

10. 第3回放射光科学賞

朝倉会長より，下記の1名を第3回放射光科学賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

辛 埴氏（東京大学・総長室・特別教授室）

「軟X線放射光を用いた先端電子状態分光の開発と物性研究の開拓」

11. 第24回学会奨励賞

朝倉会長より，下記の1名を第24回学会奨励賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

横山優一会員（公益財団法人高輝度光科学研究センター）

「共鳴非弾性軟X線散乱による電子状態解明およびコヒーレント軟X線散乱による時空間分解計測の開発」

12. 第7回功労報賞

朝倉会長より，下記の2名を第7回功労報賞の受賞者として決定した旨の報告があった。

小山 篤氏（高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所放射光実験施設）

堀米利夫氏（自然科学研究機構分子科学研究所極端紫外光研究施設）

13. 2019年度決算報告

高橋会計幹事より，2019年度決算および資産負債明細について，前年度同様に会費未収入金を収入に含めた形で作成した旨説明があり，これを承認した。

14. 2020年度予算案

高橋会計幹事より，2020年度予算案が示され，これを承認した。支出科目に予備費を新設した旨，報告があった。

15. 定款の改定：特別賛助会員の会員定義の見直し

田庶務幹事より，特別賛助会員の会員定義見直しに伴う定款の改定について提案があった。定款第2章，第6条，特別賛助会員に関する部分の改定について，下記の通り承認した。

(改訂前)	
定款第2章，第6条	特別賛助会員は，日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムを共催し，かつ本会の目的に賛同してその事業を援助する団体とする。
(改訂後)	
定款第2章，第6条	特別賛助会員は，放射光施設の運営に当たりながら，日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウムを共催し，かつ本会の目的に賛同してその事業を援助する団体とする。

■ 会員異動

第125回評議員会（2020年1月10日）で承認

《正会員入会》

及川 哲郎

青西 亨 東京工業大学

鈴木 勝彦 一般財団法人 航空宇宙技術振興財団

高尾 直樹 株式会社ダイセル

黒岡 和巳 パナソニック

以上 5 名

野津 庄平 広島大学大学院理学研究科放射光物理学研究室

平田 翔 広島大学理学部放射光物理学研究室

國宗 ひな 広島大学理学部放射光物理学研究室

以上 7 名

《シニア会員入会》

古澤 佳也 放射線医学総合研究所

以上 1 名

《特別賛助会員入会》

一般財団法人 光科学イノベーションセンター

以上 1 団体 1 口

《学生会員入会》

菱川愛佑子 京都大学大学院人間・環境学研究科吉田鉄平研究室

中村 仁彦 広島大学大学院理学研究科物理科学専攻分子光科学研究室

湯澤 佑介 京都大学 大学院人間・環境学研究科 相関環境学専攻 物質相関論講座 吉田鉄平研究室

姫野 良介 大阪大学基礎工学研究科物質創成専攻物性物理工学領域関山研究室

《退会会員》

正会員 4 名

《会員数》

会員1282名（内学生115名）名誉会員 3 名 シニア会員73名
賛助会員50社（52口）特別賛助会員13団体（20口）

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 関山 明

渉外幹事 中村哲也

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID: jsr332

Password:k9taQnY3

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、中村 (naka@spring8.or.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、関山 (sekiyama@mp.es.osaka-u.ac.jp) までお願いします。

日本放射光学会2019年度決算書
自 2018年10月1日 至 2019年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額		備 考
会費収入	正会員会費収入	9,000,000	13,059,000	11,977,000
	学生会員会費収入	209,000		8,032,000
	賛助会員会費収入	2,600,000		150,000
	購読会員会費収入	300,000		2,500,000
	特別賛助会員会費収入	950,000		345,000
				950,000
会誌収入	会誌広告収入	2,679,606	3,012,167	3,059,687
	会誌販売収入	251,637		2,718,486
	別刷収入	80,924		260,277
	会誌カラー印刷費	0		80,924
				0
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	849,306	849,306	849,306
				849,306
行事開催収入	基礎講習会	65,000	65,000	65,000
				65,000
単行本出版収入	販売収入(ビームライン光学技術)	144,850	700,800	670,800
	販売収入(ブルーボックスおよび検出器)	15,950		144,850
	広告収入	540,000		15,950
				510,000
雑収入	受取利息	92	92	92
				92
収入の部合計			17,686,365	16,621,885

備考欄は未収金を除いた金額

2. 支出の部

科 目	細 目	金 額		備 考
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業）	3,135,799	4,219,139	4,219,139
	別刷印刷費（小宮山印刷工業）	53,340		3,135,799
	会誌発送費（小宮山印刷工業）	868,000		53,340
	原稿料	162,000		868,000
単行本出版費	出版費（ビームライン光学技術）	869,220	869,220	869,220
学会奨励賞費	特注純銀メダル等	197,679	197,679	197,679
行事開催費	基礎講習会開催費	398,586	898,586	898,586
	若手研究会開催費	500,000		398,586
事業費	会議費	2,273,860	3,673,102	3,673,102
	通信費	155,694		2,273,860
	印刷費	35,722		155,694
	事務局交通費	99,426		35,722
	AOFSRR 協賛金	1,108,400		99,426
	国際活動支援奨学金	0		1,108,400
管理費	消耗品費	11,308	331,880	331,880
	運賃（宅急便+メール便）	22,458		11,308
	支払手数料	185,769		22,458
	web サーバー維持費	61,776		185,769
	学会誌等処分費	29,160		61,776
	PayPal 処理手数料	5,209		29,160
	その他管理費	16,200		5,209
				16,200
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	855,684	6,642,874	6,642,874
	会計業務委託費	259,200		855,684
	庶務業務委託費	1,158,840		259,200
	ホームページ更新等	550,800		1,158,840
	イベント関連業務	216,000		550,800
	学会誌関連業務	2,938,248		216,000
	保管料（倉庫代）	129,600		2,938,248
	その他業務費	534,502		129,600
会計業務費	税理士顧問料	108,000	108,000	108,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会	10,000	10,000	10,000
回収不能金			1,107,000	0
支出の部合計			18,057,480	16,950,480

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金 額		備 考
当期収支差額			-371,115	-328,595
前期繰越金			27,941,592	25,237,872
次期繰越金			27,570,477	24,909,277

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

2019年度資産負債明細

2019年9月30日現在

1. 流動資産の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 現金及び預金	手持現金残高	0	0
	東京貯金事務センター 振替貯金 0019-0-25525	19,274,577	19,274,577
	三菱UFJ銀行池袋支店 普通預金 5191785	15,231,574	15,231,574
2. 未収金	正会員会費未収残高	2,120,000	
	学生会員会費未収残高	115,000	
	賛助会員会費未収残高	150,000	
	購読会員会費未収残高	195,000	
	会誌販売, 他未収残高	81,200	
3. 立替金		0	0
4. 前払金		0	0
5. 貸付金	JSR2020準備金	6,000,000	6,000,000
流動資産の部合計		43,167,351	40,506,151

未収金を含まない金額

2. 負債の部

科 目	細 目	金 額
1. 会費前受金	正会員会費 740名	5,904,000
	学生会員会費 25名	50,000
	賛助会員会費 42社 (44口)	2,200,000
	特別賛助会員会費 9団体 (16口)	800,000
2. 未払金	ポラリス業務委託費	6,642,874
3. 預り金		0
負債の部合計		15,596,874

3. 剰余金の部

科 目	細 目	金 額	備 考
1. 前期繰越金		27,941,592	25,237,872
2. 当期収支差額		-371,115	-328,595
剰余金の部合計		27,570,477	24,909,277

未収金を含まない金額

負債・剰余金の部合計		43,167,351	40,506,151
------------	--	------------	------------

日本放射光学会2020年度予算書
自 2019年10月1日 至 2020年9月30日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	細 目	金 額		備 考
会費収入	正会員会費収入	9,280,000	13,193,000	12,260,000
	学生会員会費収入	163,000		8,400,000
	賛助会員会費収入	2,500,000		110,000
	購読会員会費収入	300,000		2,500,000
	特別賛助会員会費収入	950,000		300,000
会誌収入	会誌広告収入	2,800,000	3,350,000	3,350,000
	会誌販売収入	250,000		2,800,000
	別刷収入	200,000		250,000
	会誌カラー印刷費	100,000		200,000
年会・合同シンポより	年会・合同シンポより	0	0	0
行事開催収入	基礎講習会	140,000	140,000	140,000
単行本出版収入	販売収入(ビームライン光学技術)	20,000	30,000	30,000
	販売収入(ブルーボックスおよび検出器)	10,000		20,000
雑収入	その他	0	1,000	1,000
	受取利息	1,000		0
収入の部合計			16,714,000	15,781,000

備考欄は未収金を除いた金額

2. 支出の部

科 目	細 目	金 額		備 考
学会誌出版費	会誌印刷費（小宮山印刷工業）	3,150,000	4,200,000	4,200,000
	別刷印刷費（小宮山印刷工業）	50,000		3,150,000
	会誌発送費（小宮山印刷工業）	900,000		50,000
	原稿料	100,000		900,000
単行本出版費	出版費（ビームライン光学技術）	25,056	25,056	25,056
学会奨励賞費	特注純銀メダル等	150,000	150,000	150,000
行事開催費	高良和武先生・佐々木泰三先生追悼講演会	50,000	800,000	800,000
	基礎講習会開催費	250,000		50,000
	若手研究会開催費	500,000		250,000
事業費	会議費	2,000,000	4,370,000	4,370,000
	通信費	150,000		2,000,000
	印刷費	40,000		150,000
	事務局交通費	80,000		40,000
	AOFSRR 協賛金	1,100,000		80,000
	国際活動支援奨学金	1,000,000		1,100,000
管理費	消耗品費	15,000	325,000	325,000
	運賃（宅急便+メール便）	20,000		15,000
	支払手数料	180,000		20,000
	web サーバー維持費	60,000		180,000
	学会誌等処分費	30,000		60,000
	PayPal 処理手数料	10,000		30,000
	その他管理費	10,000		10,000
	予備費	予備費		150,000
ポラリス事務委託費	会員業務委託費	860,000	6,690,000	6,690,000
	会計業務委託費	260,000		860,000
	庶務業務委託費	1,150,000		260,000
	ホームページ更新等	550,000		1,150,000
	イベント関連業務	200,000		550,000
	学会誌関連業務	3,000,000		200,000
	保管料（倉庫代）	130,000		3,000,000
	その他業務費	540,000		130,000
	会計業務費	税理士顧問料		110,000
諸会費	男女共同参画協会連絡会	10,000	10,000	10,000
回収不能金			933,000	0
支出の部合計			17,763,056	16,830,056

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

3. 収支計算の部

科 目	細 目	金 額		備 考
当期収支差額			-1,049,056	-1,049,056
前期繰越金			27,570,477	24,909,277
次期繰越金			26,521,421	23,860,221

備考欄は収入の部の未収分を除いた金額

■日本放射光学会2020年度組織

■会長（任期：2019.10.01-2021.09.30）

朝倉 清高（北大）

■幹事（任期：2019.10.01-2021.09.30）

庶務幹事 田 旺帝（ICU）

行事幹事 小嗣 真人（東理大）

編集幹事 関山 明（阪大）

渉外幹事 中村 哲也（東北大/PhoSIC）

会計幹事 高橋 嘉夫（東大）

■評議員

（任期：2018.10.01-2020.09.30）

雨宮 慶幸（JASRI）

石川 哲也（理研）

内海 渉（量研）

太田 俊明（立命館大）

尾嶋 正治（東大）

木村 昭夫（広大）

木村 真一（阪大）

小杉 信博（KEK）

辛 埴（東大）

田中 義人（兵庫県立大）

中尾 裕則（KEK）

初井 宇記（理研）

水木純一郎（関学）

村上 洋一（KEK）

若林 裕助（阪大）

（任期：2019.10.01-2021.09.30）

朝倉 清高（北大）

阿部 仁（KEK/茨城大）

稲田 康宏（立命館大）

大橋 治彦（JASRI）

加藤 政博（広大）

岸本 浩通（住友ゴム工業）

組頭 広志（東北大/KEK）

高田 昌樹（東北大）

原田 慈久（東大）

藤原明比古（関学）

船守 展正（KEK）

松田 巖（東大）

矢代 航（東北大）

山本 雅貴（理研）

渡辺 義夫（あいちSR）

■行事委員

（任期：2019.10.01-2021.09.30）

小嗣 真人（東理大）委員長

石黒 志（東北大）

泉 雄大（広大）

岩澤 英明（広大）

小川 修一（東北大）

久保田雄也（JASRI）

小林 正起（東大）

滝沢 優（立命館）

永村 直佳（NIMS）

松葉 俊哉（JASRI）

山神 光平（東大）

■編集委員

（任期：2014.10.01-2020.09.30）

中西 康次（兵庫県立大）

（任期：2017.1.24-2020.09.30）

大橋 治彦（JASRI）

平野 馨一（KEK）

（任期：2017.10.01-2020.09.30）

尾原 幸治（JASRI）

初井 宇記（理研）

（任期：2018.10.01-2020.09.30）

岩山 洋士（分子研）

大隅 寛幸（理研）

黒田 健太（東大）

高井 良太（KEK）

中島 伸夫（広大）

藤井健太郎（量研）

星野 真人（JASRI）

松垣 直宏（KEK）

（任期：2019.10.01-2021.09.30）

関山 明（阪大）委員長

井上伊知郎（理研）

杉本 宏（理研）

徳田 一弥（住友電工）

増永 啓康（JASRI）

吉越 章隆（原子力機構）

東 純平（佐賀大）

平 義隆（産総研）

林 好一（名工大）

和田 真一（広大）

■2020年度の主な事業計画

- 第33回年会・放射光科学合同シンポジウム
2020年1月10日～12日（於：ウイングあいち（愛知県産業労働センター））
- 第33回総会
2020年1月10日（於：ウイングあいち（愛知県産業労働センター））
- 第3回放射光科学賞，第24回奨励賞，第7回功労報賞授与
2020年1月10日（於：ウイングあいち（愛知県産業労働センター））
- 若手研究会
2020年夏季開催予定
- 基礎講習会
2020年夏季開催予定
- 評議員会（10月，1月，4月，7月）
- 編集委員会（年3回）
- 行事委員会（年1回，年会時）
- 拡大放射光施設代表者会議
- 学会各賞授賞選考（奨励賞，功労報賞，放射光科学賞）
- 次期評議員選挙
- 学会誌の定期発行（年6回）
Vol. 32, No. 6/2019年11月末発行
Vol. 33, No. 1/2020年1月末発行
Vol. 33, No. 2/2020年3月末発行
Vol. 33, No. 3/2020年5月末発行
Vol. 33, No. 4/2020年7月末発行
Vol. 33, No. 5/2020年9月末発行
- 第34回年会・放射光科学合同シンポジウム
（2021年1月/広島国際会議場）準備

■新刊紹介

■光物性学原論

著者：石井武比古，安居院あかね
発行元：丸善出版
ISBN 番号：978-4-621-30431-0
定価：本体15,000円＋税

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2020年 5/19-22	第56回真空技術基礎講習会	(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター	日本表面真空学会, 日本真空工業会, 大阪府技術協会 E-mail: g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp	33・2
6/24-26	第45回光学シンポジウム	東京大学 生産技術研究所	一般社団法人 日本光学会 E-mail: optsymp45-aud@myosj.or.jp	33・2
7/10	第48回 薄膜・表面物理セミナー (2020) ニューロデバイスに向けた最新メモリデバイス・薄膜材料技術	キャンパス・イノベーションセンター東京	応用物理学会 薄膜・表面物理分科会 E-mail: igarashi@jsap.or.jp	33・2
7/12-15	第20回 SPring-8 夏の学校 ―最先端の放射光科学を学ぶ―	大型放射光施設 SPring-8 キャンパス	兵庫県立大学理学部/大学院物質理学研究科・生命理学研究科, 関西学院大学理工学部・大学院理工学研究科, 東京大学 放射光分野融合国際卓越拠点, 岡山大学, 大阪大学未来戦略光科学連携センター・蛋白質研究所・核物理研究センター, 茨城大学大学院理工学研究科, 高輝度光科学研究センター, 理化学研究所 放射光科学研究センター, 日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター, 量子科学技術研究開発機構 放射光科学研究センター E-mail: 2020summerschool@spring8.or.jp	33・2
10/14-16	VACUUM2020真空展	東京ビッグサイト	一般社団法人日本真空工業会, 公益社団法人日本表面真空学会, 日刊工業新聞社 E-mail: autumnfair@media.nikkan.co.jp	33・2
11/9-12	第33回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議	アートホテル大阪バイタワー	公益社団法人 応用物理学会 E-mail: secretariat@imnc.jp	33・2
11/13	第23回ミレニアム・サイエンス・フォーラム	駐日英国大使館大使公邸	ミレニアム・サイエンス・フォーラム E-mail: msf@oxinst.com	33・2
11/15-19	The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9)	サンポート高松 (サンポートホール高松&かがわ国際会議場)	公益社団法人 日本表面真空学会 E-mail: iss9@jvss.jp	33・1

■第56回真空技術基礎講習会

主 催：日本表面真空学会，日本真空工業会，大阪府技術協会
 協 賛：日本放射光学会，他
 日 時：2020年5月19日（火）～5月22日（金）
 場 所：大阪産業技術研究所 本部・和泉センター（大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1）
 定 員：60名
 問合せ先：
 〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野 2-7-1
 大阪産業技術研究所 本部・和泉センター 内
 （一社）大阪府技術協会 担当：三浦（月・火・木・金のみ）
 TEL：0725-53-2329 FAX：0725-53-2332
 E-mail：g-kyoukai@dantai.tri-osaka.jp
 詳 細：https://www.jvss.jp/

■第45回光学シンポジウム

主 催：一般社団法人日本光学会
 協 賛：日本放射光学会，他
 日 時：2020年6月24日（水）～6月26日（金）
 場 所：東京大学 生産技術研究所（東京都目黒区駒場 4-6-1）
 問合せ先：E-mail：optsymp45-aud@myosj.or.jp
 詳 細：http://myosj.or.jp/event2/opt_symp

■第48回 薄膜・表面物理セミナー（2020）

ニューロデバイスに向けた最新メモリデバイス・薄膜材料技術

主 催：応用物理学会 薄膜・表面物理分科会
 協 賛：日本放射光学会，他
 日 時：2020年7月10日（金）10：00-16：30
 場 所：キャンパス・イノベーションセンター東京（東京都港区芝浦3丁目3-6）
 定 員：100名（満員になり次第締め切ります）
 問合せ先：
 応用物理学会事務局分科会担当 五十嵐 周
 TEL：03-3828-7723 FAX：03-3823-1810
 E-mail：igarashi@jsap.or.jp
 詳 細：https://annex.jsap.or.jp/tfspd/

■第20回 SPring-8 夏の学校 ―最先端の放射光科学を学ぶ―

主 催：兵庫県立大学理学部/大学院物質理学研究科・生命理学研究科，関西学院大学理工学部・大学院理工学研究科，東京大学 放射光分野融合国際卓越拠点，岡山大学，大阪大学未来戦略光科学連携センター・蛋白質研究所・核物理研究センター，茨城大学大学院理工学研究科，高輝度光科学研究センター，理化学研究所 放射光科学研究センター，日本原子力研究開発機構 物質科学研究センター，量子科学技術研究開発機構 放射光科学研究セン

ター

日 時：2020年7月12日（日）～7月15日（水）
 場 所：大型放射光施設 SPring-8 キャンパス
 参加費：無料（但し宿泊費・交通費等は自己負担）
 定 員：80名程度
 問合せ先：
 SPring-8 夏の学校事務局
 （公財）高輝度光科学研究センター（JASRI）
 利用推進部 普及情報課
 〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1
 TEL：0791-58-2785 FAX：0791-58-2786
 E-mail：2020summerschool@spring8.or.jp
 詳 細：http://www.spring8.or.jp/ja/ ⇒「学会会合」⇒「第20回夏の学校」

■VACUUM2020真空展

主 催：一般社団法人日本真空工業会，公益社団法人日本表面真空学会，日刊工業新聞社
 協 賛：日本放射光学会，他
 日 時：2020年10月14日（水）～10月16日（金）
 場 所：東京ビッグサイト
 問合せ先：
 日刊工業新聞社 イベント事業部「VACUUM2020真空展」事務局
 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
 TEL：03-5644-7221 FAX：03-5641-8321
 E-mail：autumnfair@media.nikkan.co.jp
 詳 細：https://biz.nikkan.co.jp/eve/vacuum/

■第33回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議

主 催：公益社団法人 応用物理学会
 協 賛：日本放射光学会，他
 日 時：2020年11月9日（月）～11月12日（木）
 場 所：アートホテル大阪ベイトワー
 問合せ先：
 第33回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議（MNC 2020）事務局
 （有）セクレタリーアート気付
 TEL：03-3420-1800 FAX：03-3420-1840
 E-mail：secretariat@imnc.jp
 詳 細：http://imnc.jp/

■第23回ミレニアム・サイエンス・フォーラム

主 催：第23回ミレニアム・サイエンス・フォーラム
 後 援：日本放射光学会，他
 日 時：2020年11月13日（金）
 場 所：駐日英国大使館大使公邸
 問合せ先：E-mail：msf@oxinst.com
 詳 細：http://www.msforum.jp/